



国土を整え、全力で備える

国土交通省  
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
Chugoku Regional Development Bureau

## お知らせ

記者発表資料 | 平成30年8月10日

同時発表先： 合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、  
岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、  
山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

## 建設キャリアアップシステム説明会を開催します ～建設業の担い手確保・育成に向けた新しい取り組みが始まります～

中国地方整備局は、以下のとおり、「建設キャリアアップシステム説明会」を開催します。

建設キャリアアップシステム（以下「本システム」といいます。）は、建設技能労働者（技能者）の保有資格や現場経験（就労実績）などを、ICカード（キャリアアップカード）を通じシステムに蓄積するとともに、蓄積されたデータを基にした能力評価などで活用を図ってゆくものです。

本システムは、社会資本整備や地域の守り手である技能者1人ひとりが技能と経験に応じた処遇を受けられる環境整備の一環として導入されるもので、今年の秋からの運用開始が予定されています。

今回の説明会は、本システムの周知を図るため行うものです。

1. 日 時：**平成30年9月4日（火）** 15時00分～17時00分
2. 会 場：広島合同庁舎 4号館附属棟 海技試験場（広島市中区上八丁堀6-30）
3. 主 な 内 容：建設キャリアアップシステムの概要、メリット、利用方法について
4. 取材について：報道関係者で傍聴を希望される方は、当日会場受付までお越し下さい。
5. そ の 他：建設企業向けには、中国地方整備局ホームページ（<http://www.cgr.mlit.go.jp/>）にて、本日から参加募集（定員は約130名）を始めました。

### <問い合わせ先>

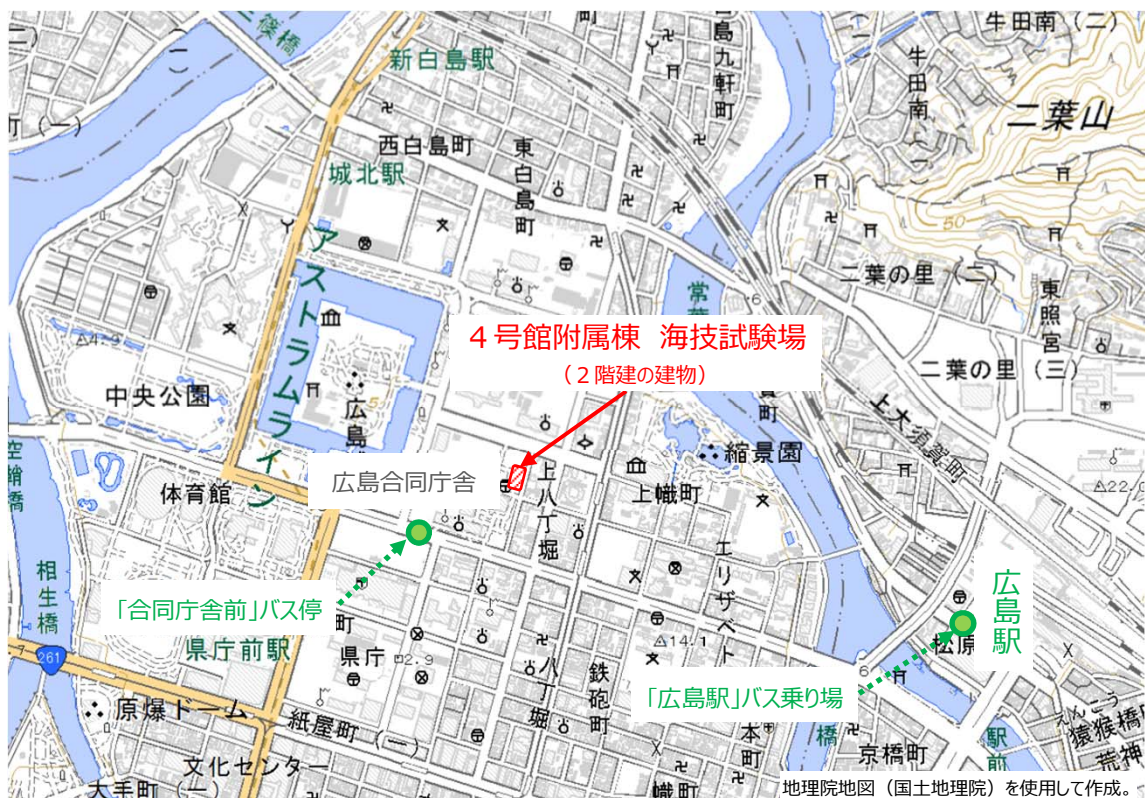
中国地方整備局 082-221-9231（代表）：（平日・昼間）

【担 当】建政部 計画・建設産業課長 佐々木 高 志（内線6121）  
建政部 計画・建設産業課長補佐 森 本 眞 宏（内線6142）

【広報担当窓口】 広報広聴対策官 いわた やすひさ（内線2117）  
企画部環境調整官 井 上 いのうえ 恭 久（内線3114）

## 会場案内図〔建設キャリアアップシステム説明会〕

会 場 : 広島市中区上八丁堀6-30  
(広島合同庁舎 4号館附属棟 海技試験場)



### 【交通案内】

#### 《バス》

広島駅バス乗り場 (Bホーム8・9番) から  
「高陽方面」「可部方面」行きのバスに乗車。  
⇒ 「合同庁舎前バス停」で下車。

※経由地が「合同庁舎前」と示されたバスをご利用下さい。

**公共交通機関の利用に  
ご協力をお願いします。**



- 「建設キャリアアップシステム」は、技能者の資格、社会保険加入状況、現場の就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積する仕組み
- システムの活用により技能者が能力や経験に応じた処遇を受けられる環境を整備し、将来にわたって建設業の担い手を確保
- システムの構築に向け官民（参加団体：日建連、全建、建専連、全建総連 等）で検討を進め、平成30年秋に運用開始予定
- 運用開始初年度で100万人の技能者の登録、5年で全ての技能者（330万人）の登録を目標

<参考>新しい経済政策パッケージ（H29.12.8閣議決定）（抄）

## 第3章 生産性革命

### (2) 第4次産業革命の社会実装と生産性が伸び悩む分野の制度改革等

#### ④ 建設分野

- 建設技能者の就業履歴等を蓄積する建設キャリアアップシステムの来年秋の構築等により、現場管理や書類作成・人材育成の効率化、技能や経験が適正に評価される環境整備を行う。



## 技能者の処遇改善

### ○経験や技能に応じた処遇の実現

- ・システムに蓄積される就業履歴や保有資格を活用し、技能者をレベル分けする能力評価基準を検討（レベルに応じてキャリアアップカードを色分け）
- ・技能者の能力評価と連動した専門工事企業の施工能力等の見える化も進め、良い職人を育て、雇用する専門工事企業が選ばれる環境を整備



## 現場管理の効率化

### ○社会保険加入状況等の確認の効率化

- ・現場に入場する技能者ひとりひとりについて、社会保険の加入状況等の確認が効率化

事業者名	技能者名	就業日数	社会保険加入
○建設	○男	11	○
○建設	建設太郎	10	○
×工務所	□□子	20	○
×工務所	□□次郎	20	○

### ○書類作成の簡素化・合理化

- ・施工体制台帳や作業員名簿の作成の手間やミスを削減

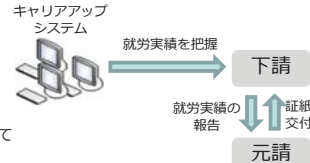
作業員名簿（イメージ）

氏名	職種	生年月日	現住所
○男	型枠工	○年○月○日	○県○市
建設太郎	型枠工	△年△月△日	△県△市
□□子	鉄筋工	□年□月□日	□県□市
□□次郎	足場工	■年■月■日	■県■市

※赤枠部分にシステムに蓄積された情報が反映される

### ○建退共関係事務の効率化

- ・技能者に証紙を交付する際の事務作業が軽減（現在は手作業で必要書面を作成している）



※建退共において、システムに蓄積された就業履歴を用いて証紙請求書類（共通）を作成するソフトを開発し、今秋提供予定

※また、建退共において、証紙に替えて電子的に就業実績を把握する方式の導入について検討が進められている